

## 大阪市立大学産学官連携ポリシー

大阪市立大学（以下「本学」という。）は、優れた人材の育成と真理の探究という普遍的な使命に加え、研究成果を社会に還元し、地域社会ひいては国際社会の発展に寄与する社会貢献活動を第三の使命と位置付ける。

新たな「知」の時代を迎えた今日、本学は産学官連携を社会貢献活動の柱の一つとして位置づけることにより、その活動を推進するとともに、長期的視点に立った知的創造サイクルの基盤構築に向け、積極的な取り組みを実践していく。

本学は、以上の理念に基づいて産学官連携を円滑に遂行していくため、以下のとおり、大阪市立大学産学官連携ポリシーを定める。

- I 大学と産業界等との対等なパートナーシップの下、本学は産学官連携を推進することにより、新技術・新産業の創出や技術移転、起業支援等で幅広く産業界等に貢献するとともに、これらの活動を通じて、大学自身の教育と学術研究の社会的価値を高める。
- II 本学が長年にわたる研究活動で蓄積してきた膨大な「知」を、産学官連携を通じて幅広い分野で有効に活用することにより、我が国産業の発展と国際貢献に寄与する。
- III 都市を学問創造の場と捉え、本学の都市型総合大学としての強みを最大限に活かして、産学官連携を通じた成果を市民に還元し、地域社会の発展に寄与する。
- IV 本学の研究成果を広く社会に還元するため、知的財産の創造に力を注ぐとともに、生み出した知的財産は適切に維持・管理・活用する。
- V 地域社会や産業界、公的機関との持続的な連携を図るために、本学は自らの公共性と自立性を維持しつつ、透明性が高く、十分な説明責任が果たせるような産学官連携活動を実践する。